



この本も
要チェック!

近頃よく耳にする
「画像生成AI」と
「ChatGPT」。
本を参考に自分でも試してみよう!

『画像生成AI』

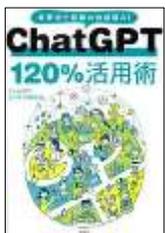


深津 貴之/著
水野 祐/著
インプレス

「呪文」と「魔法の言葉」
でイラスト作成! まずは体
験してみよう。一般ユー
ザーが利用できる画像生成
AIサービスにもさまざまな種類があり、
無料で使えるものもあります。画像生成AI
について全く知らなくても対話形式でサク
サク読んで、読了後は試してみたくてウズ
ズしてきますよ。

『ChatGPT120%活用術』

ChatGPTビジネス研究会/著
宝島社



「ChatGPT」とは、
「Chat Generative
Pre-trained Transformer」
(チャット生成可能な事前
学習済み変換器)の略。
アメリカのOpenAI社
が開発したチャットボット
です。と言われても今までの会話型AIと何が
違うのか分からない! という人も多いの
では? まずはページを開くとところから始めよう。

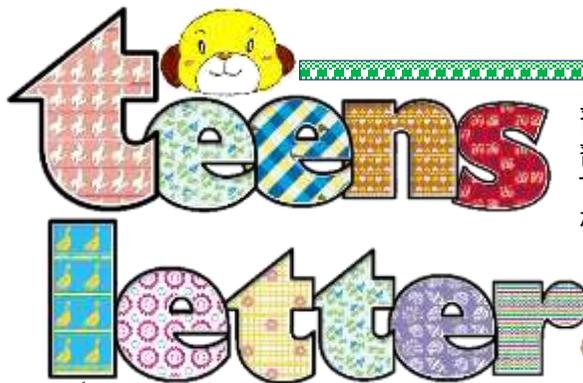
『S-Fマガジン 2023年2月号』

早川書房



特集「AIとの距離感」。
表紙は画像生成AIに
よるもの。AI絵本や
SF作家×小説生成AIに
よる短編などがぎゅっ
とつまった一冊。

2023年7月発行



習志野市立中央図書館
習志野市本大久保 3-8-19
TEL:047-475-3213
ホームページ



<https://www.narashino-lib.jp>

ティーンズレター
VOL.54



中高校生向け講座「SDGsを『世界ゴト』から『自分ゴト』にしよう! ～ブロックで考えるこれからの未来～」を開催します!

中央図書館では中高校生向けの講座を開催しています。

今回は、こども国連環境会議推進協会から井澤 友郭氏をお招きして、

イメージすることが難しいSDGsについてレゴブロックを活用しながら教えていただきます。

夏休みの課題にもピッタリです! 皆さん、奮ってご参加ください。

日時: 8月20日(日)午前10時から正午まで

講師: こども国連環境会議推進協会 井澤 友郭氏

対象: 中学生以上 定員: 20名 会場: プラッツ習志野北館 研修室

申込(中高校生): 7月16日(日)午前9時から中央図書館カウンター及び電話で受付



編集後記 ティーンズレター第54号はいかがでしたか? 次回は秋頃にお会いしましょう!



むかーし、携帯電話の普及に驚愕し、ネット接続、カメラ搭載、ワンセグ受信ときて、スマートフォンの登場に人生びっくり続きです。そしてAI...。もうAIの次の新技術の開発が始まっているのかしら? (コロ)



ひと昔前までフィクションとして楽しんでいたSF小説も、ノンフィクションになる日が近いのかも... AIさんはChat GPTかChat GTPかよくわからなくなる女とも仲良くしてくれるかしら(震え声) (おもち)



TEENS CORNER BOOK NABI

ロボモアンドロイドもAIしてる

今回のテーマは「AI」。みんなは既に身近で活躍しているAI技術に気付いているかな？

『おバカな答えもAIしてる』 ジャネル・シェイン／著 光文社

自撮り動画に耳をつけたり、話したことを翻訳してくれたり、既にわたしたちの生活に溶け込み、そして今後も活躍の幅を広げていくであろうAI【人工知能】。AIは提示された例を元に学習していき、質問に対する答えを導き出すが…それは時に珍回答を生み出す！AIをより身近に感じつつくみを学べる1冊。



『NASAのロボット蜂』 ロバート・ウォー／著 創元社

「第1章 ロボットへの夢」紀元前322年から「第7章 SFが現実になる」現代までのロボティクスとAIの歴史を50の偉大な発明でたどりましょう！古代の人々が夢見たことが今の私達の生活ではあたりまえのように身近にあります。きっと、現代の私達が夢見たことも将来の人々にとっては身近なものになっている、そんな未来がやってくるのでしょうか。



『AIエンジニアになるには』 丸山 恵／著 ぺりかん社

AIに様々なタイプがあるように、AIエンジニアも様々な場所で活躍できるチャンスがあります。この本で紹介されている6名のAIエンジニア・AI研究者のリアルな仕事内容、現場の話をぜひのぞいてみてください！AIに関する基本的な説明も載っていますので、難しく考えずにまずは気軽に手に取ってみてください。



『僕とアリスの夏物語』 谷口 忠大／著 岩波書店

6年生から不登校になった悠翔の元に突然現れた謎の少女アリス。ひょんなことから一緒に住むことになったものの、彼女は同じくらいの年頃のはずなのに、ひどく物知らずだった。そんな彼女も悠翔たちと過ごしていくにつれ、多くを学び身につけていく。しかし、アリスの存在を聞きつけた人物が彼らに忍び寄り…。物語と解説が交互に進む青春小説×AI解説書。



『どろんどろんど』 北野 勇作／作 福音館書店

少女型自律式人口知能「Artificial Little girl intelligent Cell-Android」略称・アリスは長い長い停止状態から目覚めた。いつの間にか地球にはヒトがいなくなり、アリスが記憶していた青い星の地球はどこまでも続く茶色い泥の海に変わり果てていた。これはアリスと亀型ロボット万年1号（+ひとり?）の奇妙な旅のおはなし。



『AIに負けた夏』 土橋 真二郎／著 KADOKAWA

姪っ子の勧めで成功率100%のAIによる恋愛シミュレーションラボを訪れた失恋の傷が癒えない大学生の秋山。そこで出会った一人のアンドロイドは言う。「私たちには恋人同士を結ぶ赤い糸が見えていますよ」——
「すでにAIにはあなたのエンディングが見えていますよ」——
そしてAIが導き出した運命を信じない秋山とAIアンドロイドのひと夏の物語が始まります。



『探偵AIのリアル・ディープリニング』 早坂 吝／著 新潮社

密室で焼死体となって発見された人工知能研究者の父。その死の真相を探る輔は、父の部屋で隠すようにしまわれていたSDカードを発見し、人工知能「相以」と出会う。「相以」いわく「相以」には双子の妹AIがおり、2人でひとつのプログラムであるという。《刑事》のAI「相以」と対をなす《犯人》のAI「以相」はどこにいったのか。二人の謎ときは果たして…。
続編『犯人IAのインテリジェンス・アンプリファァー』『四元館の殺人』もぜひ！



『電気じかけのクジラは歌う』 逸木 裕／著 講談社

人工知能がリスナーの好みを解釈し、趣向にあわせた作曲をしてくれるアプリ『Jing』。人気を博す反面、人間が“創作”する必要はなくなり、作曲家は絶滅の一途を辿っていた。『Jing』専属検査員である岡部の元に訃報が届く。親友であり、数少ない現役作曲家でもあった名塚だった。彼から届いた自らの手をかたどったオブジェに未完成の曲…これらが意味するものとは。



『クララとお日さま』 カズオ・イシグロ／著 早川書房

AF（Artificial Friend）とは人工親友。AIロボットが人間の友達となり、寂しさを感じさせないよう尽くすため開発・製造されたAIロボット。AFであるクララは、病弱な少女ジョジーとその家族に買われていきました。クララは使命を全うすべくジョジーに献身的に尽くし始める。

人間とロボットを隔てるもの、科学と人間の在り方を考えさせられる友情物語。

